

令和5年度 彦根市スポーツ・文化交流センター評価結果

(1) 評価は、評価基準の各項目ごとに委員会で1～5の5段階で評価した。

(2) 評価は、以下の5段階とする。

- 5…優れている
- 4…やや優れている
- 3…普通
- 2…やや劣る
- 1…劣る

(3) 評価結果

基準項目	選定項目	細目	得点	
1	基本方針に基づく管理運営	1 施設の設置目的および市の管理運営方針	1 施設の設置目的を理解し、市が示した管理運営方針と実施した管理運営が合致しているか	3.6
			2 指定管理者の運営や経営のモラルは適切か	3.5
		2 平等な利用を図るための具体的な手法およびその効果	1 事業等の実施内容に偏りがなかったか	3.1
	2 利用者の公平性を確保するための方策が実施されていたか		3.4	
	3 障害者、高齢者、外国人等への配慮など、誰もが施設を利用できるための配慮がなされていたか		3.3	
	3 地域への貢献、連携、対応等	1 業務委託、製品の発注、職員の雇用等については、地元の企業、団体、人材について配慮がなされていたか	3.5	
		2 敷地内および敷地周辺への交通安全、渋滞について適切な対策を実施したか	3.4	
		3 地域、関係機関、ボランティア等との十分な連携が図られていたか	3.8	
	2	1 利用者の増加を図るための具体的な手法およびその効果	1 設定した目標数値は達成しているか	2.8
2 利用拡大や利用率向上に向けた具体的な取組を実施したか			2.8	
3 効果的な情報発信・広報宣伝が実施できたか			2.9	
2 サービスの向上を図るための具体的な手法およびその効果		1 サービス向上のための取組内容（利用者満足度調査など）は適切か	3.1	
		2 わかりやすい利用料金の設定およびニーズにあった割引制度等が実施されたか	3.3	
		3 スポーツ施設の貸館業務におけるサービス向上のための適切な方策が実施されていたか	3.1	
		4 トレーニング室の機器等は誰もが気軽に体力づくり・健康の維持増進ができる公共スポーツ施設にふさわしいものが配置されたか	3.8	
		5 文化施設の貸館業務におけるサービス向上を図るための適切な方策が実施されていたか	2.9	
		6 交流ラウンジの運営業務において、誰もが使いやすく快適な空間となるための適切な方策が実施されていたか	3.8	
		7 自主事業の提案は、市の意図している内容となっていたか	3.0	
		8 施設予約から支払いに至るまでの非接触による手続き推進に関するネット構築等の対策は実施されたか	3.6	
		9 利用者からの要望、苦情への対応方針は適切か	3.6	
		10 自己評価が適正に実施できる体制が確立されているか	3.4	
3 施設の維持管理内容、適格性および実現の可能性		1 安全で快適な施設を長く提供するため、維持管理は本施設に適した効果的・効率的な内容になっていたか	3.8	
		2 施設・敷地内の美化を維持するため適切な対応が実施されていたか	3.5	
		3 建物内部および敷地内の防犯、防火に対しての施設管理、安全管理は適切な内容になっていたか	3.6	
		4 市の指定緊急避難場所および指定避難所である防災の拠点施設としての対応方針と体制は構築されていたか	3.8	
3		1 収支計画の内容、適格性および実現の可能性	1 収支の内訳と事業内容の整合性はあるか	2.9
			2 収支改善の対策が実施されているか	2.8
	3 収支計画を上回る利益があった場合、還元策が実施されたか		2.1	
	2 安定的な管理運営が可能となる人的能力	1 職員の体制は十分な内容となっているか	3.3	
		2 経験豊富な人材、有資格者等が配置されているか	3.4	
		3 職員の指導・育成や研修体制は適切か	3.4	
	3 法人等の組織体制、実績、社会的責任能力、経済的基盤	1 安全かつ効率的な業務が実施できる組織体制、責任体制となっているか	3.5	
		2 企業（団体）倫理、コンプライアンス（法令順守）への取組は適切か。	3.5	
		3 環境負荷の低減に対する方針と対策が確立されたか	3.3	
		4 個人情報保護の考え方と情報管理を行う体制や職員への教育について適切に実施したか	3.4	
	4 施設の管理費用の削減	1 収入確保	1 アウトリーチによる施設内外での興行、催し等が実施されているか	2.3
		2 費用対効果	1 効率的・効果的に管理運営を行うための創意工夫がなされているか	2.9
総合評価			3.3	

評価の理由、コメント

利用者からの要望に適宜対応するなど、サービスの増進または施設の維持管理に努めることで、多くの利用者があったことは評価できる。一方で文化施設の利用件数が少なかったこと、また興行での施設利用がなかった影響もあり利用料収入が計画値を下回る結果となった。今後は、さらなる利用者の増加を目指すとともに収支状況を改善するためにも、自主事業の充実による文化施設の利用促進および積極的な興行の誘致・開催に期待したい。